

ふ り と 天

Spring



2018

vol. 15

特集
 幼児科1年目と
 2年目をふりかえって

ヤマハ音楽教室幼児科
 保護者向け情報誌

ヤマハ音楽教室の願い

ヤマハ音楽教室が幼児科で

大切にしていることはいくつもありますが

その中のひとつに「適期教育」というものがあります。

「適期教育」とは、子どもの成長に合わせて、

一番適切な時期に、一番身につけやすいものを
教えるということです。

幼児科のレッスンも、適期教育を

ふまえた内容になっています。

幼児科の年齢は、最も耳の力が伸びる時期です。

ですから、幼児科のみなさんには、

聴こえてきた音を聴き取ることや

先生が歌ったり弾いたりした通りに歌う、弾く、

といったことを大事にしております。

音を聴きとったり、その通りに歌う力が育つことは、

演奏表現の基礎となる音感が育つことにも

大きく関係してきます。

また、将来楽譜を読めるようになるために、

必要な力をつける時期でもあります。

幼児期は、音楽を楽しむ力を育てるための

大切な時期だとヤマハ音楽教室は考えています。

ぶらトモってなあに？

みなさん、こんにちは。『ぶらトモ』は
幼児科のお母さんお父さんたちと身近に
なりたい、仲よくなりたいという想いで
2014年に発行されました。『ぶらいま
りー』のともだちだから略して『ぶら
トモ』です。よろしく願います！

音楽は、内気な自分の

気持ちを表す手段。

「音」を通じて、
心を相手に届けたい

ヤマハ音楽教室
インタビュー

*

YUKIE NISHIMURA
西村由紀江さん

作曲家、ピアニスト。桐朋学園大学入学と同時にデビュー。『101回目のプロポーズ』『子ぎつねヘレン』など、ドラマ・映画・CMの音楽を多数担当するほか、TV・ラジオの出演やエッセイの執筆も行う。年間60本を超えるコンサートや、ライフワークとして「学校コンサート」「病院コンサート」、そして被災地にピアノを届ける活動「Smile Piano 500」にも精力を注ぐ。2016年7月には、デビュー30周年記念アルバム『Beautiful Days』リリース。
<http://www.nishimura-yukie.com/>

8歳のときに参加した
JOCで話題に

3歳から高校3年生までヤマハ音楽教室に通っていたという西村さん。

「母がピアノの先生で、自宅ヤマハ音楽教室で教えていました。家にピアノがあつて、生まれたときから母や生徒さんが弾いているのを聴いていたので、自然に自分も弾くものだと思っていました」と語ります。お母さまに習わず、ヤマハに通ったのは、お母さまが「自分が教える」と、感情的になるから」との理由からだつたとのこと。

幼児科時代は、先生がレコードをかけて、「好きな楽器で一緒に遊ぼう」と、みんなでタンバリンやトライアングル、笛などを自由に鳴らした楽しい記憶が残っているそうです。

そして8歳の時に参加したJOC（第4回ヤマハ・ジュニア・オリジナルコンサート⁷⁵）で特別優秀賞を受賞します。当時は最年少での受賞だったことでもあり話題に。そのごほうびも兼ねて、翌年の春休みにはタイと台湾へ演奏旅行にでかけました。

「『国際親善のために行くのよ』と大人に言われても、ピンときていませんでした。でも3月の寒い時期に、現地の空港に着いたら熱帯で。コンサートでは、肌の色も言葉も全然違う、未知の世界の人たちから、拍手をもらい、『音楽は世界の共通語』ということを、肌で感じました。」

感情の表現手段
としての作曲

小学生で頭角を現しましたが、幼児科のころから、何に対して

PRIMARY
FRIENDS
OB&OG
INTERVIEW



も引っ込み思案で、自信がない子だつたそう。でも、5才のときにそんな自分の気持ちをピアノで表現してみたら、「あ、これだ!」と、音と気持ちがぴつたり一致し、以来、曲をつくることの楽しさを知りました。

「音符は丸と棒だけなので、ひらがなを書くより難しくない（笑）。日記を書くように毎日音符で曲を作っていました。」

現在の作曲活動も、心に感じたことを音楽にするのが基本になつているそうで、「うれしいとか悔しいという感情からメロディーが聞こえてくるので、例えばドラマの音楽を作るときも撮影の現場に行き、そこで感じた空気感を曲にします」。

大学1年生の時に
CDデビュー

小学校・中学校・高校とピアノ

ノを続けてきた西村さんに、CDデビューの話が来たのは、高校2年生の終わりのとき。「人見知りで、手も小さいし、自信のないことばかりの私にとっては、曲を作れることは自分の感情を表現してくれるすごく大事なものです。それを、職業にすることは全く考えていなかった」と、当時は振り返ります。ためらう西村さんを後押ししたのは、お母さまの「やってみたら、こんなチャンスは二度とないから」という言葉でした。

高校3年生の夏に、CDデビューのためのレコーディングをしましたが、すぐにプロとして活動はせず、まずは音楽の勉強をしながら4年間考えたいと音大にも進学。東京で初めてのひとり暮らしを始めました。「慣れないことだらけで、このころが、1番つらかった」とい



COMMENT
FROM MOTHER

お母さんが当時を
振り返って
思うこと

*

私自身が、ヤマハ音楽教室幼児科の先生の1期か2期目として、結婚前に資格を取りました。「テクニックよりも音感を養う」というメソッドに当時とても感動しましたので、それを娘にも実践しました。お腹の中にいるころからクラシックを聴かせたり、産後も、家ではいつも音楽を流していました。ただ子育てに関してはちょっと厳しくしすぎて、早い時期から突き放しすぎたかなという気もしています。今は個性を生かして、自分の道を歩んでいることをとてもうれしく思っています。このまま元気にたくましく、やりたいことを続けていってほしいですね。
(西村佑子さん)

う西村さん。例えば、CDのプロモーション活動でラジオに出演し、「今度のアルバムを10秒で紹介してください」と言われ、戸惑っている間に番組が終了。マネージャーさんに怒られることもしょっちゅうだったそうで、「毎日壁にぶつかって泣きそうになりながら過ごしていました」と語ります。

また、デビューアルバムを発売したのは、1986年。当時はテクノポップやディスコサウンドと呼ばれる音楽の全盛期、「ピアノの地味な音楽っていうのが世の中に全く受け入れられてなくて、自分自身もどうすればいいのか揺れ動いていました」。

短期留学で
自分の道を決心

大学卒業後、自分の進路を決めかねていた西村さんは、オー

ストリアのザルツブルクにあるモーツァルテウム音楽院という国立音楽大学の大学院に短期留学をします。この町は、『サウンド・オブ・ミュージック』の舞台にもなった町で、西村さんも子どものころから、いつか絶対に行きたい、と思っていた場所。

大学院で衝撃を受けたのは、「バッハの曲ひとつを弾くときでも、イタリア人が弾くのとアラブ人が弾くのとでは例えば、速さも強さも違って個性的。みんな堂々としていて、間違えても全然動じず(笑)、音楽はこんなに自由なんだっていうことに気がつきました」と語ります。

この体験がきっかけで、帰国後は、音楽の道へ進むことを決心。その後、現在にいたるまで、音楽を軸にさまざまな活動をしてきました。音楽の魅力が「人とつながっていられるとこ

ろです。自分がうまく弾けて楽しいというよりも、誰かに喜んでもらえたり、音楽を聴いて勇気もらったと言われたり、相手の心に自分の音を届けることができるのがうれしい」と語ります。

また、西村さんの日々の Motto は、「音楽に対して正直になること」。格好良い曲を作ろうとかヒットをさせようと考えると、どこか不自然になってしまふそうで、「例えば料理の味付けでいうと、化学調味料を入れたり奇をてらったりしない味つけ。お吸い物のように、だしと塩だけで作られたような音楽を作りたい」とも。

音楽って楽しい！
という気持ちこそ大事に

「音楽は、テクニックを磨くのも大事ですが、いかに聴いてい

る人に、自分の心を伝えるかということが大事」という西村さん。そういう意味で、ヤマハの音楽教室は、「間違わないように弾きなさい！」という教え方はなく、楽しいとかうれしいとか、感覚のところから教えてもらえて、本当にありがたかったなと思います」と、当時を振り返ります。

幼児科のママたちには、「ママがまず、音楽やピアノを好きになって、一緒になって楽しんでほしい。そして、子どもにちょっとでもいいところがあつたらいっぱいほめてあげてほしい」とアドバイスを。たとえママにピアノなどの音楽経験がなくても、『ママはこの曲好き』とか『キレイな曲ね』と言うだけでも、子どもの音楽に対する気持ちが全然変わってくると思います」。



幼児科の1年目と2年目では
それぞれ、一体どんな力がつくの？と
疑問に思っている保護者の方は多いはず。
幼児科では、聴くこと、歌うこと、弾くことを通じて、
「音感」を養っていきますが、それって
一体どういう形で現れるのでしょうか？
1年目と2年目、さらに児童期のみなさんに
それぞれふりかえってもらいました！

特集

幼児科 1年目と2年目を ふりかえって

それでは実際に
ふりかえった方々の
声を聞いてみよう――

EPISODE 01

レッスンで特に好きなのは メロディー暗唱*



石田さとるちゃん(6才)

留美子さん

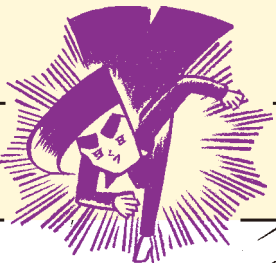
ママもヤマハ出身。「テキストに昔と同じ曲をみつけて感動！」。(埼玉県・ニコニコ堂)

Adviserの先生から

メロディー暗唱が好きというのはいいですね。きっと歌が大好きなんでしょう。先生が歌っているときの曲想やフレーズ、テンポなど的確に聴き取れているはずですし、それが演奏にもむすびついていることでしょう。

1 年目のときに、「リスのこもりうた」で、初めて両手奏ができたときは、「親子で感動したのを今でも覚えています」。2年目になって、さらに左手が難しくなってきましたが、「理解して納得しないと前に進めないタイプ」のようで、家でも右手と左手をそれぞれ弾きこんで、それぞれが頭の中でつながると弾けるようになるみたい。またレッスンではメロディー暗唱が大好き。「そのおかげか、2年目になって、鼻歌ですが歌を作ったり、耳コピをするのがぐんとできるようになったと思います」。

自宅練習も
しっかり!



EPISODE 01

グループレッスンで みんなの息も合うように!



石井ひかりちゃん(5才)

あかねさん

2才のときにドレミと一緒に参加したのがきっかけでヤマハに。(千葉県・ミリオン楽器)

Adviserの先生から

両手奏が「気が付いたら弾けていた」というのは着実に力が付いている証拠。頭の中でメロディーが鳴っているから弾けるようになるのです。みんなでそろえて歌ったり弾いたりできるのは、クラス全体として音感が育っているのだと思います。

取 材時は、幼児科1年目がスタートして8カ月目くらいのおとき。「最近苦労したのは両手奏への取り組み」とはママ。右手パートを歌いながら左手パートを弾くという取り組みを進めていき、自宅で何度も何度部分練習をしながら、「本当にある日、気が付いたら弾けていた」と感じています。レッスンではみんなの息が次第に合うようになってきて、タイミングがピタッとあつたときは、ママたちから拍手がおこったことも。先生からも、「今、鳥肌がたった!」と言われ、これからが楽しみです。

EPISODE 02

2年目になって自主的に 自宅練習をするように。



田中結栞ちゃん(6才)

江里さん

新体操なども習っており、「来年は習い事のスリム化が目標！」。(静岡県・ヤマハミュージッククリエィティンング浜松店)

Adviserの先生から

「どうして弾けないんだろう?」と、自らに問いかけができるということは、成長している証拠。これからも、その気持ちをなくさずに頑張っていってほしいです。弾ける曲も、ずっと弾き続けて、自分のものにしていけるといいですね。

1 年目のときは「1日5分でもいいから自宅練習を」という先生のアドバイスを従っていたら、今では、ママが声をかけなくても練習するように。「2年目の最初はシールを活用したりもしていました」。今では弾けないと「どうして?」とあきらめずに取り組む力もついてきて「1時間くらい練習していることもあります」。小学校に入ってもヤマハを続ける予定で、「これからは弾くことがメインになっていくと思いますが、『音楽が大好き』という気持ちを大切にしていってもらえたら」とはママ。

レパートリーが
増えていくぞ!



EPISODE 02

ママのアイディアと 工夫で自宅練習も毎日。



三宅弥佳ちゃん(5才)

寛子さん

年少のときからヤマハに。3才の弟と一緒に弾くことも。(滋賀県・イケダ光音楽)

Adviserの先生から

お子さんに合った練習方法を工夫していますね。何度も繰り返し練習することが上達への近道!うまくいかない時があっても、弾けた時の喜びや達成感の積み重ねが大切。さらに、弾けるようになった曲を弾き続けると音感が定着します。

最 近、自宅練習が習慣化しました。練習しないときは、ママがエレクトーンを弾いてみせたりすることが刺激になって楽器に向かったりも。「リビングに楽器を置き、自分だけ『やらされている感』がないようにしています」。初めての両手奏、「リスのこもりうた」では、タイミングを合わせるのが難しかったそう。「とにかく回数を弾くことでできるようになり、今では自分から練習するようになりました」。今後は「家で練習することは大変ですが、それと同時に達成感も味わってもらえたら」。

*先生が歌ったり弾いたりする音をドレミで真似しながら歌うこと。



まとめ・それぞれをふりかえって

1年目

歌うこと、弾くこと、そしてハーモニー感を養います。

歌うことができる

先生の表現を聴いて、まねして歌うことで、耳の力と表現力を育てていきます。楽器を弾くときにも歌うことはとても大事。

弾くことができる

「感じて弾く」ことを目指しています。このことはニュアンスを感じて歌うメロディー暗唱と密接につながっています。

ハーモニー感を養います

1年目の終わりには、和音を弾くことで、「ハーモニー感」という、音の重なりを感じ取れる耳の力を育てます。

2年目

耳の力が育ち、表情豊かに両手で弾けるように。

聴く力、歌う力が深まります

メロディー暗唱など曲も長くなりますが、それを聴き取っていくことでより聴く力、歌う力がついていきます。

アレンジする力の土台

2年目の最後には、メロディーに合う和音(ハーモニー)を自分で考えて、左手の伴奏を弾くようになります。

ハーモニー感がさらにUP

2年目の終わりには、5つの調の13個の和音を、聴き、歌い、さらに弾いてきたことになるので、ハーモニー感がますます育っています。

児童期に期待できること

よりアンサンブル力がつき、アレンジする力も。

歌う力や演奏力も

歌詞やドレミで歌うことを続けていくほか、技術的な面から、よりその曲に合った演奏力がついていきます。

アレンジ力がよりUP

既成の曲を弾く以外に「自分でアレンジしてみよう」という意欲がわくのは、幼児科での音感やハーモニー感が土台に。

アンサンブル力がつきます

テンポをキープし、みんなと合わせて弾くことができるように。まわりの音を聴くことは社会性や協調性を育てることに。

*「ホームワーク」の巻末資料、「保護者の方へ」も参考にしてください。

レベルアップ!
さらに児童期で



ぶらトモ15号・特集〈完〉

幼

幼児科2年間では「聴く、歌う、弾く、読む」をベースに、耳を使うことをメインに音感を養っていきます。児童期になると、幼児科で学んだことをベースに、より演奏力やアレンジする力、アンサンブルの力が磨かれていきます。

ADVISER

ヤマハ東山センター 高村理恵先生

ヤマハ出身。「音楽の良さは、音楽を通して伝えるようにしています」。



*今号の特集は、「ぶらトモ隊」に応募してくださったみなさんに、2017年12月~2018年1月に取材した内容をもとに構成しています。



児童期 幼児科2年間の先で身につくこと

EPISODE 01

移調した曲で、ママに「これ何調だ?」とクイズ!

ジュニアアンサンブルコース



リョウゴ
石原諒梧くん(7才)

美幸さん

姉(小5)、妹(5才)もそれぞれヤマハに。姉とは家で合奏したり。(北海道・エルム楽器)

Adviserの先生から

楽譜が読めるようになったり、アレンジができるようになったりというのは、読譜力や、演奏力がしっかりしている証拠で、幼児科からの積み重ねの証。さらに挑戦したい気持ちが強くなると、もっと自分で練習するようになると思います。

「初見が苦手でしたが、最近読めるようになってきました」。また、アレンジが大好きで、自宅では、自分の好きな曲を、移調して弾き、ママに「これ何調だと思う?」と当てさせようとしたりするそう。

「児童期に入ってから、グレードの試験なども受けているので、もうちょっと、少しでもいいから毎日、平均的に練習してほしい」とはママ。

「試奏などを受けているので、もうちょっと、少しでもいいから毎日、平均的に練習してほしい」とはママ。

また、アレンジが大好きで、自宅では、自分の好きな曲を、移調して弾き、ママに「これ何調だと思う?」と当てさせようとしたりするそう。

「初見が苦手でしたが、最近読めるようになってきました」。

EPISODE 02

とにかく歌が大好き! 最近は表現力もアップ!

ジュニア総合コース

岡村佳保ちゃん(小4)

栄子さん

3人姉妹の末っ子。水泳も得意です。(愛知県・ヤマハ東山センター)

Adviserの先生から

ここ最近で何かスイッチが入ったみたいに、ぐっと表現力が増したということはきっと幼児科からためていたものが形になって現れたのだと思います。自発的な練習の積み重ねで演奏力が磨かれると、ますます楽しくなると思います。

「好きな上のお姉ちゃんがめざしているのと同じ、保育士になりたいくて「だったらピアノが弾けた方が!」ということで幼児科からヤマハに。」

「発表会前とかにならないと長く練習しない。もう少し練習量が増えて欲しい」というのがママの希望。とはいえ、歌を歌ったり踊ったりするのは大好きで「姉妹の中で一番リズム感も音感もあると思います」。

自宅で弾いているときに、「以前と違って本人の気持ちがあつと音にのっているなと感じることが。このまま楽しく続けていってくれたら」。



THE WORLD OF
CHILDREN'S SONGS
"グーチョキパーで
なにつくろう"
ILLUSTRATED
BY
NORIKO
OKAMOTO

SCORE

"グーチョコキパーで なにつくろう"

作詞者不詳
フランス民謡
編曲：清澤久恵

※メロディーパートは、1オクターブ^{うえ}で弾きましょう。

♩=104
C
8va

メロディー

mf

3 1

1

伴奏

mf

2

C G7 C C G7 C D7 C^{on}G7 C C^{on}G7 C

(8va)

4 3 1

2 4 5 1

3 1

The musical score is written for piano. It features a melody line and an accompaniment line. The melody line starts with a treble clef and a common time signature. The accompaniment line starts with a bass clef and a common time signature. The score includes dynamic markings (mf) and fingering numbers (1, 2, 3, 4, 5). There are also guitar chord symbols (C, G7, C, D7, C^{on}G7) and an octave shift instruction (8va) for the melody line.

How To Play こうやって 遊ぼう！

育児雑誌などでおなじみのイラストレーター、
岡本典子さんによる描き下ろしのイラストです。
親子でメロディーの追いかっこをしながら歌ったり
2年目の生徒さんは、歌いながら弾いたり、
連弾をしてもいいでしょう。

LYRICS

"グーチョコキパーで なにつくろう"

グーチョコキパーで
グーチョコキパーで
なにつくろ なにつくろ
みぎてがグーで
ひだりてはチョコキで
かたつむり かたつむり

にこちゃん family の場合

レッスン前
同じクラスのママに

こんにちは フクチです
幼児科2年目
いよいよ終盤に
さしかかりました
今回の2ファミリーは
どんな様子でしょうか

10月~12月頃を
おっかけ!!

えっ?
にこちゃんは
進級コースって
どうする?
えっ?

私それぞれの
コースの特徴を
調べてみたの

- ・ジュニア 専門コース
- ・ジュニア 総合コース
- ・ジュニア ピアノコース
- ・ジュニア エレクトーンコース
- ・ジュニア アンサンブルコース

それで娘にも
希望を聞いて
みたんだけど...

そうなんだ!!
バタバタして
進級コースのこと
まだちゃんと
考えてなかった!

実は3人目出産間近

これから
ヤマハ
続けたい?

「練習台
したくないって
まっくら目も
あるけど」

えっ!?!
続けたいよ!!

だま
お友達と弾くの
楽しいし
やめたく
ない!!

そっか...

私もパパも
音楽を楽しみ
ながら長く続けて
ほしいよね

意見は一致しているし

いとえちゃん family の場合

新しいクラスも
きつと楽しい
ことがいっぱい
だよ

ママさんかな
そうなる
とにこちゃんに
合そうな
コースは...

ぶらトモ
いとう④に
入ったね

なんだか
あつという間だな

まわりでも
進級の話が
増えてきたなあ

できる
ことなら

今のクラスの
このメンバーで
進級後も
学びたいけど...

バラバラに
なっちゃうかも
しれないからこそ

みんな
大きな声で
歌えたいね

残りのレッスンを
1回1回
親子でめいっぱい
楽しもうね

えへへ

あと
少しづつ親子の
距離を取っていく
練習をしないと

いとえちゃん自身も

お母さん
弾いてるとき
歌わないで!!

「自分でやりたい」気持ちが
高まっている様子

成長を
感じるなく

少し離れて練習を
見守ってみる

それぞれが新しい道を
選択するこの季節

にこちゃん・いとえちゃん
ファミリーのおっかけ日記も
クライマックスへ向かいます

ぶらトモファミリー
おっかけ日記はFBページで
更新中

月・水・金
時々日曜日も
更新中です

こちらでも
毎週水曜日
出張更新中

いいね!や
コメント
お待ちして
います♡

ぶらトモ family
おっかけ日記
FB ページ

39

ヤマハ音楽教室
FB ページ

YAMAHA
MUSIC FOUNDATION

ヤマハぶらトモ
で検索してね!!



PURATOMO SQUARE

ぶらトモひろば



「ぶらトモひろば」では、全国の生徒のみんなや、お母さん・お父さんたちからのすてきなお便りを紹介したりヤマハ音楽教室にまつわる素朴な疑問に一生懸命答えたりするよ。もっとわたしたちのことを知ってほしいから。

Q&A ABOUT YAMAHA

ヤマハ音楽教室 にまつわる そぼくな疑問



Q. 楽譜に、先生からのアドバイスは記入しない方がいいですか？

(東京都 あやママさん)

A. 『ぶらいまりーノート』をぜひ活用してみてください。

テキストの『ぶらいまりー』には、それぞれの曲に合わせて、彩り豊かなイラストが描かれており、お子さんが曲の世界観に入り込めるような工夫がされています。ですから、レッスンでの先生の

「歌を聴くのは大好きだけど、弾くのはキライ」と娘。「本と一緒に、音楽を聴いてどんなお話か自由に想像したい！」と言うのが理由のよう。「弾けたら、もっと自由に想像できるかもよ？」と、私がお話を語りながら曲を弾いたら大はまり。「もりのあさ」を弾いて「森に朝がやってきました」「かっこう」は「かっこうが朝の光を届けに来るのです」と、語りながら弾いています。本好きな娘にぴったりの練習法が見つかりました。(東京都 大山絵美子さん)



です。(兵庫県 松岡信行さん) うれしいけどさびしい
保育園から帰宅後、夕食の支度中が娘の練習タイム。先日、「今の良かったね！」と声をかけると「途中で間違えたのになんで褒めるのっ」と。娘の自分を甘やかさない姿勢に頼もしさを感じました。(埼玉県 あやこんさん)

その姿勢をほめてあげて



次はどんなお話かな？
幼児科に通い始めて1年半。毎日一緒に練習してきましたが、ここ最近は一息で練習をしたがるように。「その方が落ち着いて練習できるから」とのこと。

4月から小学生になる娘。幼く見えてもしっかり成長してくれていることが嬉しいです。寂しいですが、口出しは少なく見守りたい

お姉ちゃんに続き、2度目の幼児科。親も少し余裕が出来て、楽しんでいきます。上の子の練習を聴いていたので要領はいいのですが、練習はあまりしません。日々のやる気スイッチの入れ方に悩み中。(岡山県 うさこさん)



スイッチどこかな？

アドバイスや、宿題についてのメモは、テキストより『ぶらいまりーノート』のレッスンメモのページの活用をおすすめします。

メモすることも大事



Q. 自宅で練習するときに、上手に弾けないとつい怒ってしまい反省……。

(広島県 YDさん)

A. お子さんの心に寄り添い、できることを少しずつ伸ばす練習を。

毎日、お子さんの練習を見守ることは、とても大変なことですが、弾けない時は、「難しいね。どうしたら弾けるかな？」とまずは一緒に考えてあげてください。もしかすると「聴く→歌う→弾く」のプロセスの途中に、つまず

きがあるのかもしれませんが。CDを聴きながらドレミで歌ったり、歌いながら弾いてみることで、レッスンで習った弾き方が思いだせることでしょう。
また、弾く時に「今日は半分だけ」「今日は片手ずつ歌いながら弾いてみよう」など、少しずつ上達するそのプロセスを大事にしなから、お子さんにつき合ってあげてください。

歌うことも大事



Q. 幼児科のカリキュラムの何が音感を育てますか？

(徳島県 よっちゃんさん)

A. レッスンで行う「すべて」が音感を育てていきます。

幼児科は、レパトリーをはじめ

趣味の一環で、数年前まで、12年間ピアノを習っていたという佐藤巧さん(43才)。娘の渚ちゃん(5才)には「音楽とかかわる人生を歩んで欲しい」と、1才からドレミらんどに。「歌うことも弾くことも好きで、幼児科に入ったら、あっという間に抜かれてしまいました(笑)」。



MY DEAREST DAD ぼくの私の 大好きパパ

全国のパパ募集!



め、メロディー暗唱や鍵盤あそびなど、60分のレッスンで行うさまざまな内容の全てのこと、音感を育てています。
「音感」とはドレミ・テンポ・リズム・強弱など、音楽を形作るさまざまな要素を聴き取り、味わうことのできる耳の力のこと。
1曲を弾くまでに、先生の演奏や歌を聴き、真似をして歌ったり弾いたりします。この過程で正しい「音感」を身につけていきます。

無駄なことは何もない!



ご意見・ご感想
お気軽にお問い合わせください

ヤマハ音楽教室
お客様コミュニケーションセンター

0570-075808

月曜～金曜 9:30～17:30
(祝日・年末年始・夏季休業を除く)

※「ヤマハ音楽教室ホームページ」からもお問い合わせを受け付けています。http://faq.yamaha-ongaku.com/as/scope1/yamaha-mf/web/

PURATOMO FRIENDS
ぶらトモのゆかいな仲間たち



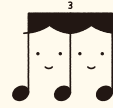
四分休符

おっとり
クオレスちゃん
のんびり マイペース
せいかくも おおらかで
あたたかい



シャープ

きれものの
シャープくん
いきおいよく
なにごとも
てきばきとこなす



三連符

いつもいっしょの
トリブレット姉妹
おっちょこちょい
きをつけても
ころんじゃう



全休符

ほんわか
ホーレスさん
ものしずか
きがつけば
ねていることも

＼ おじゃましました！ ／
隣のヤマハ音楽教室！



今号は
鹿児島県！



今話題の西郷隆盛の出身地としても知られる鹿児島県。今回は、男の子2人、女の子4人(当日は1人欠席)の幼児科1年目のクラスです。南国というお土地柄もあってか、おおらかな雰囲気、みんな元気いっぱい。この日のレッスンは『池の雨』からスタート。「日曜日の朝だと、すぐには声が出にくいので、歌ってもらうことから始めています」とは東牧佑子先生(写真後列右から4番目)。レッスンでは、先生が「こうやろう」と促すよりも、「子どもがどうしたいかをキャッチして、それをできるだけレッスンに活かしています」とのこと。「音楽は楽しくが一番！」と先生が言うように、みんなの笑顔があふれるクラスでした。

十字屋
MUJE 新栄センター

鹿児島県鹿児島市新栄町9-1

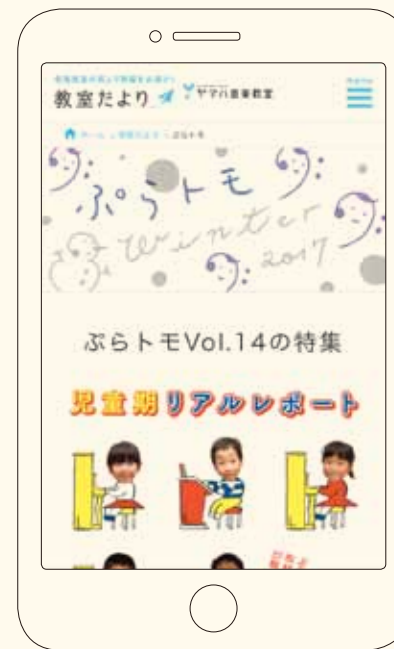
(右)2018年大河ドラマの主人公としても有名。
(左)ショッピングセンターの中に教室が。



©鹿児島市

HOME PAGE
『ぶらトモ』が
WEBでも
読めるように！

『ぶらトモ』のvol.11~14までがヤマハ音楽教室のWebサイト内で見られるようになりました♪それ以前のバックナンバーも順次追加していきますので、ぜひWeb版『ぶらトモ』もチェックしてみてください。



ぶらトモ
WEBでも



TEACHER
みんなの先生



この道
ひとすじ



河野由香里先生
(千葉県 オウリヤ楽器)

自身もヤマハ出身の河野先生。子どものときからの憧れだったヤマハの先生になって数年がたち、「思っていたより大変だと感じた」こともあるそう。「でも、自分が伝えたことが生徒に伝わり、いい演奏となって返してくれることが励みになった」とも。「生徒は先生をうつつ鏡だと思えます」と語る河野先生、ポリシーは「子どもの限界を決めないことです。子どもの可能性は無量大。限界を決めず、いろんな可能性を信じ、一人ひとり音楽の表現が同じにならないよう、その子の個性を伸ばしてあげたいですね」。

LESSON

幼児科でオプションレッスンが
はじまります！

グループレッスンで行われている今の幼児科のレッスンに併用して、個人レッスンが受講できるようになりました。ピアノやエレクトーン演奏力(弾く力)を伸ばしたい、グループレッスンの内容をしっかり復習したい、といった方におすすめです。受講をご希望の場合は、お通いの会場担当者、または幼児科担当の先生にご相談ください。

個人レッスンの詳細については、ヤマハ音楽教室公式サイトにてご確認ください。

https://www.yamaha-ongaku.com/music-school/music_school/course_4-5/option/

※会場により、幼児科オプションレッスンが受講できない場合があります。ご了承ください。



個人
レッスン
スタート！

HUMOROUS POEM

おもしろヤマハ川柳

*

テーマ

「子育てあるある」



子を見つ
昔の自分
思い出す

大阪府
このみかんさん

音違う
歌うじいじに
指摘する

岡山県
ゆっぶるままさん

つきそいの
下の子ばかり
よく練習

兵庫県
YTさん

編集後記

音楽の授業でヴィヴァルディの「春」を聴かされ、頭に浮かんだ映像を答えなさいと言われたので正直に「箱」と答えたら、スルーされました。(アートディレクター 寄藤文平) / 最近、認知症の専門医のお話を聞く機会がありました。楽器と語学は認知症になるスピードを遅くするのだそうです！(編集&ライター 長谷川華) / 数年前からテニススクールに通っています。準備体操の音楽はアイルランドの某ロックバンドの曲。最近はいントロが聴こえてきただけで身体が動き出します(ヤマハ音楽振興会 ぶらとモ編集部)

ぶらとモ Vol.15 2018 春 平成 30年 3月 10日 発行 通算 15号

マンガ：北谷彩夏 (特集部分)

撮影：森安照 (西村さんインタビュー)

ヘア&メイク：河本ゆか (西村さんインタビュー)

アートディレクション：寄藤文平

デザイン：三浦裕一朗、佐藤里穂、村瀬良 (Mo-Green Co.,Ltd.)、
吉田考宏 (文平銀座)

文：下関崇子、長谷川華

企画・編集協力：孫のクリエイティブ (株式会社トド・プレス)、
長谷川華

*『ぶらとモ』vol.14の特集のイラストはニシキタダシさんによるものでした。クレジットが抜けていたことをここに詫言います。

印刷：大日本印刷株式会社

発行所：一般財団法人ヤマハ音楽振興会

〒153-8666 目黒区下目黒 3-24-22 ☎ 0570-075-808

発行人：大池真人

次号は
6月発行です



WANTED

『アンケート&お便り』募集！

『ぶらとモ Vol.15』の記事について、みなさんのご感想、ご意見を募集中です。『ぶらとモ』と一緒に作ってくれる「ぶらとモ隊」への応募もこちらから！

1. ヤマハ音楽教室や子育てに関するエピソード
2. ヤマハ音楽教室にまつわるそばくな疑問
3. ぼくの私の大好きパバ
4. 子育てあるある川柳

を募集しています。

応募は以下のアドレスかQRコードから。

<https://jp.research.net/s/KBFPBST>

(応募は5月末日まで)



先着50名様に
5種類からいずれか
1つをプレゼント

【個人情報について】

いただいたお名前、ご住所、ご連絡先などは、誌面掲載のご連絡やプレゼントのお届けに必要な情報の確認に使用し、その他の目的では使用いたしません。

